

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

甲種防火管理者 資格付与講習会のお知らせ

甲種防火管理者の資格付与講習会を開催いたします。定員がおりますので、お早目に申し込み下さい。

●期日 10月26日(木)、27日(金)
●会場 小千谷地域消防本部
●受講料 一般：三千円
●受付 10月1日～20日まで

小千谷地域消防本部へ直接申し込み下さい。
●定員 70名(定員になり次第締め切ります。)
※不明の点は消防本部までお問い合わせ下さい。
☎八三一三三一一

平成元年度 生徒募集

県立魚沼高等職業訓練校

- 募集訓練科・定員
建築科 二十名
左官科 二十名
- 応募資格
中学校又は高等学校卒業以上(平成二年三月卒業予定者を含む)
- 年齢
おおむね三〇歳以下の者
- 訓練期間 二カ年
- 願書受付期間
平成元年十月九日(月)から十一月六日(月)まで
- 選考日時

平成元年十一月二十四日(金) 午前九時から
詳しくは当校へお問い合わせ下さい。
☎三三九四二四一〇

事業主の皆さん

労働保険に 加入しましょう

◇従業員を一人以上雇っている事業主は必ず加入しなければなりません。
◇加入にあたっては、事業主に代って事務処理を行う、労働保険事務組合を利用されると、いろいろな特点があります。
詳しいことは、小千谷公共職業安定所又は同小出張所へお問い合わせ下さい。



収穫
9月13日 学校田(川口中)の稲刈りに汗を流す生徒たち。

町民芸能まつり

日時 11月5日(日)午後1時～
会場 福祉センター
内容 民謡、詩吟、舞踊、楽器、演奏、歌謡曲、民踊など

明確 / 道路標識宣言 10月2日～8日 道路標識週間
道路標識は、見やすく、わかりやすくを目ざしています。
あなたのご意見を葉書か封書でお寄せ下さい。

郵便はがき	標識BOX係行	住所・氏名・☐
(記入例)	路線名 場所 (できるだけ詳しく) 標識の状態 (できるだけ具体的に) あなたのご意見	・宛先は次の“標識意見箱”(標識BOX)へ 北陸地建 標識BOX係 〒951 新潟県白山浦1丁目425-2 新潟県庁 標識BOX係 〒950 新潟市新光町4-1 新潟県警察本部 標識BOX係 〒950 新潟市新光町4-1

◆町民文化祭作品募集◆

展示期間 11月2～3日AM9時～PM5時
会場 福祉センター
部門 絵画、書道、写真、彫塑、工芸、手芸、菊花
申込み 11月1日までに教育委員会へ
TEL (89) 3111
搬入 11月1日 AM9時～PM1時
搬出 11月4日 AM9時～12時

お待ちして
おります!!

お詫び
前月号の記事中、人権擁護委員の中村孝彰さんの姓が間違っていましたので、お詫びして訂正いたします。

人口	6,464人	平成元年10月1日現在
男	3,152人	
女	3,312人	
世帯数	1,513戸	

昭和63年度町の決算	2～5	町議会9月定例会	10
敬老会・長寿を祝って	6～7	消防団総合演習	12
牛ヶ島大ため池、水道拡張工事完成	8	中学生海のつどい	13
ゴルフ場利用者1万人を突破	9	スポーツコーナー	14～15

おもな内容

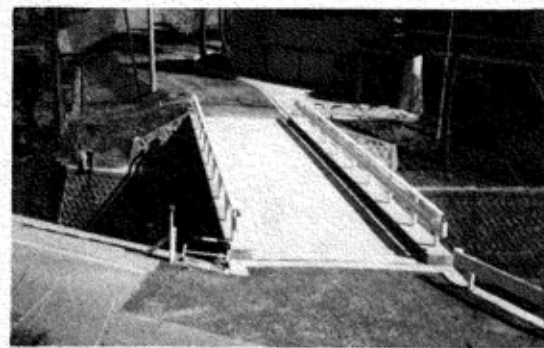


▲豊かな郷土建設に向けて63年度も社会資本の整備が積極的に行われました。

昭和63年度の

実施した主な事業

- 消火栓の新設改良(七基)
- 中山三基、武道窪一基、東部一基、田麦山一基、天納一基
- 小型動力ポンプ一台
- 消防器具置場改修(荒屋)
- 河川情報端末器の導入
- 雨量や降雪、河川の水位等に関する情報をキャッチするための機器で防災体制の強化を図るものです。
- 公共土木施設災害復旧



▲道路改良(向山橋架け替え)



▲農業基盤整備(岩平畑地整備) スプリンクラー完備

- 農業生産基盤整備事業
- 用水路改修(前島・下田島・八郎場)一、八五四m、排水路改修(横根)三四〇m、ため池改修(野田)等
- 団体営かんがい排水事業
- 用水路改修(前島)四九〇m
- 県営ため池等整備(牛ヶ島)
- 県営一般農道整備(上ノ原)
- 農地農業用施設災害復旧
- 水路災害八件、田・橋りよ

生活環境の整備

- 道路の改良・舗装(十七路線)
- 中山野田線(中山地区)他九路線、総延長一、一三八m
- 峠荷頃線(峠地区)他六路線、総延長二、五二〇m
- 市街地(東部地区)における流雪溝用土工事
- 取水施設一式、導水路一、〇四九m
- 防雪事業
- 消雪パイプ布設工事(中山地区)井戸、ポンプ一式、延長八五七m
- 下水道事業基本方針を決定
- 防火水槽(五基)
- 牛ヶ島二基、田麦山二基、相川一基

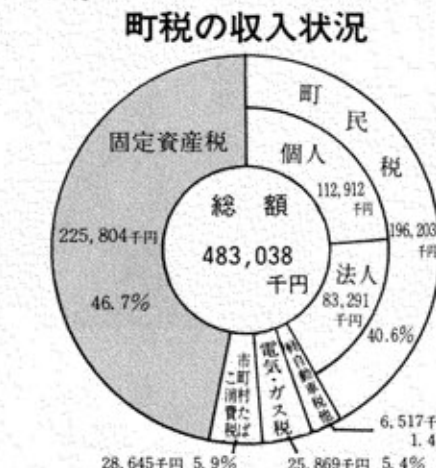
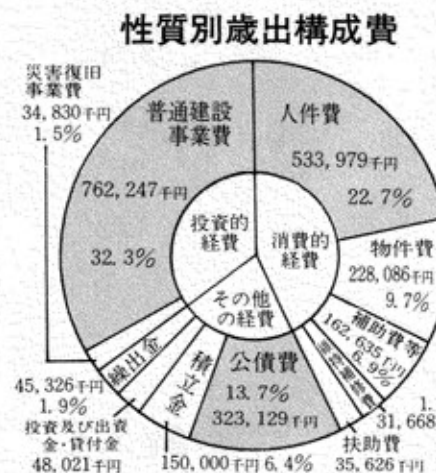
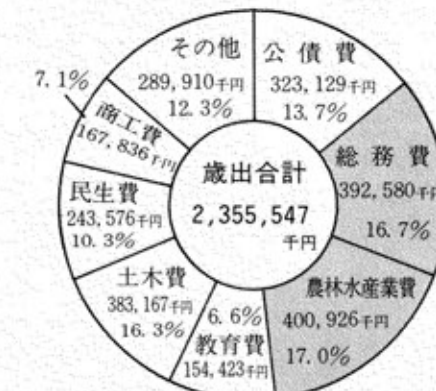
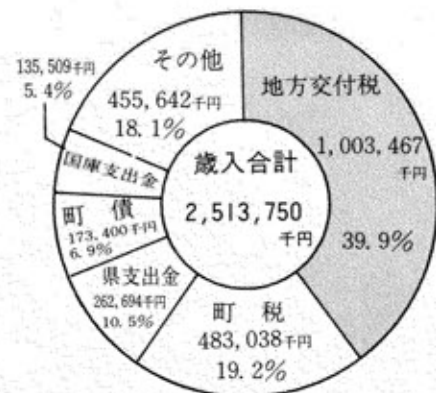
- 道路災害六件(田麦山他)、河川災害二件(相川他)
- 多雪地域住宅計画(克雪タウン計画)推進事業を実施する町村として指定を受ける。克雪タウン計画は、雪下ろしの負担と危険の軽減、冬の居住環境を総合的に向上させる狙いで、国が昭和六十二年度に創設した事業です。東部地区をモデルに雪に強い町づくりを目指します。
- 克雪住宅資金貸付制度の創設
- 克雪住宅(融雪・落雷・耐雪方式)の新築又は改良を行う人に、その建築資金の一部を融資及び利子補給(補助)

- 生産基盤の整備
- 西倉農村基盤総合整備事業
- 岩平畑地整備(六・〇ha)
- 上ノ原農道新設(五二八m)
- 上川農村基盤総合整備事業
- 相川他用水路改修(八八四m)
- 天納他排水路改修(八七二m)
- 貝の沢農道舗装(二二三m)

- 集落道相川線及び貝の沢集落排水路(五四八m)、防火水槽建設工事等
- 木沢農村基盤総合整備事業
- 木沢・妙高農道改良(六四〇m)、日影農道舗装(一五二m)この農村基盤総合整備事業は、昭和五十四年西倉地区、五十六年上川地区、五十七年木沢地区で着手され、継続事業で行われているもので、西倉地区は六十三年度で完成しました。
- 農林水産総合整備事業
- 集落開発センター一棟(大谷内)延面積九一・五〇㎡
- 第三期山村振興対策事業(田麦山地区)
- 集会所一棟(前原)、延面積一五〇・七〇㎡、防火水槽建設等

町の決算

一般会計歳入歳出決算状況



昭和六十三年年度の町財政の決算状況がまとまりました。町民の皆さんに、町の財政がどのようにして運営されたかを知っていただき、町政の指針「人間性豊かな、調和のとれた温かい町づくり」に向けて大きく邁進することを願うとともに町民の皆様からご協力をいただくため、決算のあらましをお知らせいたします。

歳出総額 23億5千5百50万円
町民一人当たり 36万4千円

一般会計は、歳入総額二十五億一千三百七十五万円、歳出総額二十三億五千五百五十四万七千円で、歳入歳出差引額は一億五千八百二十万三千円となり、翌年度繰越財源の五百二十五万八千円を差し引いた実質収支額は、一億三千四十八万三千円の黒字決算となりました。

黒字の主な要因は、歳入では町税、地方交付税等の増、歳出では消耗品費や光熱水費等の物件費の節約、人件費の抑制などによるものです。

なお、町は昭和五十三年に財政再建整備計画を立てて、

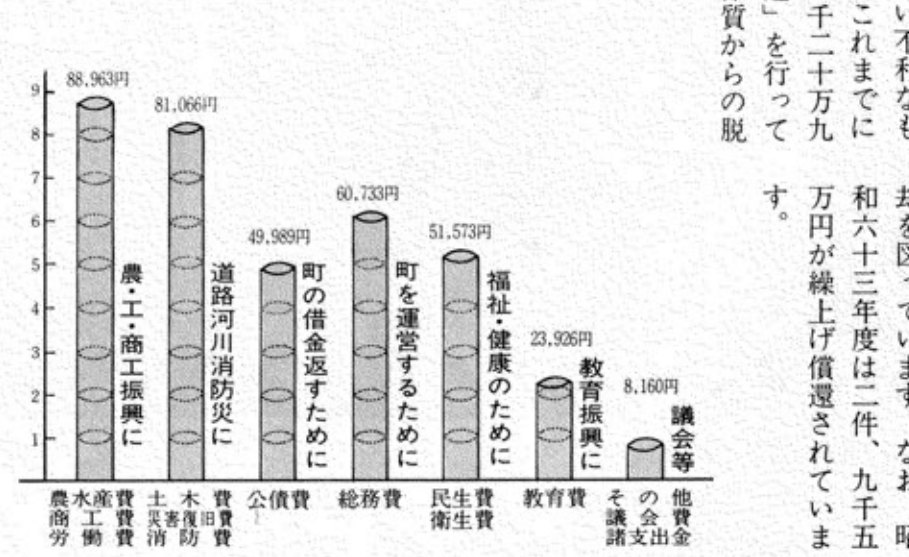
財政の改善に努めてきております。その柱は

- ① スクラップアンドビルド方式(既定経費と制度等の見直し)の採用
- ② 起債(借金)による事業の抑制と公債費は交付税に見かえりのあるものを選択
- ③ 先取り行政の展開により、国庫補助事業の積極的導入の三つであります。

これにより、全ての経費と起債の増加を抑制するなど、その成果は上ってきています。特に、起債の償還時に補填措置のある優良債を選択すると

ともに、利率の高い不利なもののや債務負担を、これまでに四十五件、三億二千二十万九千円の「繰上償還」を行っており、公債依存体質からの脱却を図っています。なお、昭和六十三年度は二件、九千五万円が繰上げ償還されています。

町民1人当たり納めたお金 56,564円
町民1人当たりの支出額 364,410円(一般会計)
(元.3.31現在 人口6,464人)



63年度 特別会計歳入歳出決算状況

区分	歳入総額	歳出総額	差引	
	千円	千円	千円	
国民健康保険	316,580	283,937	32,643	
老人保健	290,167	290,167	0	
簡易水道事業	152,944	142,135	10,809	
ガス事業	収益的収支	152,911	148,033	4,878
	資本的収支	25,998	53,446	△27,448
合計	938,600	917,718	20,882	

63年度の町の姿

面積	49.53km ²	出生	102名
人口	6,464人	死亡	68名
道路延長	126.4km	転入	102名
し尿	2,740.25kl	転出	145名
ごみ	1,432.13t	結婚	98名
給水人口	5,276人		
保育園児	251人		
小学生	579人		
中学生	290人		

町の財産

建物

区分	施設名	箇所数	面積
行政財産	学校・保育所他	59	33,166m ²
普通財産	教員住宅他	7	1,243m ²
簡易水道	中央簡易水道他	17	417.86m ²
ガス	各地区ガバナー室	17	164m ²
国民健康保険	医療施設	1	493m ²
合計		101	35,483.86m ²

土地

区分	施設名	面積
行政財産	学校・公園他	448,049m ²
普通財産	山ノ相川跡地他	125,933m ²
簡易水道	東部簡易水道他	3,782m ²
ガス	各地区ガバナー室	1,697.23m ²
国民健康保険	医療施設	1,210m ²
合計		580,671.23m ²



▲ 中央簡易水道浄水場

◎国民健康保険

- ・加入世帯数 七六六世帯
- ・被保険者数 二、〇三一人
- ・(一般被保険者数 一、〇三一人)
- ・人、うち老人保健医療給付対象者三五七人、退職被保険者等一四四人)
- ・一人当たり保険料額 五七、七五円(一世帯当り)
- ・保険料額一六三、九七九円)

◎老人保健

- ・対象者 七十歳以上の者 六九七人
- ・六十五〜六十九歳 一五人

◎簡易水道事業

- ・給水戸数及び給水人口 一、三四六戸・五、二七六人
- ・普及率 九三・二%
- ・一戸当たり一カ月平均使用料 七、二〇五円
- ・中央簡易水道天納地区拡張工事(給水ポンプ他、水道管一、八五五メートル)
- ・町道中山線他水道管新設及び移設改良(七〇七メートル)

◎ガス事業

- ・消火栓新設及び改良(六基)
- ・供給戸数 一、五一五戸
- ・ガス販売量 一、二八一、〇七〇立方メートル
- ・ガス料金の改正
- ・消費税導入に伴い、消費税を含め現行料金とする改正
- ・建設改良
- ・国・県道及び町道のガスパ管新設及び移設改良等
- ・二十一区間、二、九四三メートル(本支管、供給管)



▲ 第三期山村振興農林漁業対策(前原集会所)



▲ 家族旅行村(オートキャンプ場)



▲ 地域バイタリティ育成事業(ファミリーゴルフ場)

◎福祉・健康

- ・精神障害者、腎臓機能障害者医療費助成及び特定疾患者の交通費助成等
- ・父子手当
- ・住民検診
- ・予防接種
- ・人間ドック助成
- ・老人家庭奉仕員による在宅福祉
- ・肺がん検診
- ・へき地患者輸送車購入
- ・町民体育祭、町民ハイキング、町民雪まつり、各種スポーツ大会

◎国民健康保険

- ・力によるリゾート整備の推進を図るものです。
- ・生涯学習のむらモデル地区の指定を受ける
- ・この事業は、建設省が六十三年度に新しく設けた制度で、人生八十年型社会を迎えて新しいライフスタイルに対応できる「ゆとりのある定住の場の整備」と「生涯学習機会の確保」を併せて提供するモデル地区を選定して行うもので、全国で十五箇所、県下では当町が指定されました。
- ・滞在型家族旅行村の建設
- ・先の観光レクリエーション地区施設整備事業と地域バイタリティ育成事業を併せ、「野外学習のむら」をつくり、そして、「生涯学習のむら」と荒屋遺跡を活用した、歴史民族資料館、原始古代体験施設、ファミリーレクリエーション施設などによる「原始古代むら」の、この三つの「むら」づくりを進め、民間活力の導入を図りながら、滞在型家族旅行村の建設を進め、活力と魅力のある町づくりを目指しています。



▶ 住民検診「歯の健康相談」

うるおいのある環境の整備

う、ため池災害各一件、道路災害三件

- 水田農業確立対策
- 転作等達成率一〇・二・三%
- 水田高度利用推進対策
- 転作物実証ほの設置、転作の定着化促進等
- 農地保有合理化促進事業
- 農地流動化助成四十三件
- ふるさと便
- 都会の皆さんに、町の特産品を年四回直送(山菜、メロン、チマキ、笹だんご、コシヒカリ、みそ、銘菓等)
- 農業振興祭
- 町商工会補助

観光レクリエーション地区施設整備事業(家族旅行村)

- ▼ オートキャンプ場建設
- オートキャンプ(二十サイト)、野外卓(二十基)、便所(十二棟)、管理舎(一棟)園路舗装及び外灯、合併処理槽などを整備
- ▼ ピクニック緑地、エントランス広場造成、管理棟(設計委託)
- 地域バイタリティ育成事業
- ▼ ファミリーゴルフ場(六

ホール)十八ホールの内、十四ホールが完成、駐車場整備

- ▼ ローラースケートロード(五〇〇m)
- 県内初の本格的なオートキャンプ場と町営によるファミリーゴルフ場は、今年ゴルフデンウィークにオープンしました。
- また、この二つの事業の導入により、観光基盤の整備が一段と進み、町の活性化に大きな期待が寄せられています。
- リゾート開発の推進
- 県のリゾート重点整備地区に指定されており、民間活

今年度の長寿慶祝90歳以上の皆さん

(M 33. 3. 31以前生) (敬称略)

住所	氏名	年齢	世帯主	住所	氏名	年齢	世帯主
武道窪	綱 マツ	101	和 吉	上河原	丸 山 正 規	91	東 威 博
小 高	笹 崎 キク	99	義 高	大 形	小 川 キ イ	91	
中新田	山 田 ナ カ	95	萬 平	川口1	阿 部 サ ノ	91	高 吉
牛ヶ島	丸 山 キク	95	本 人	新 敷	山 田 タ ノ	91	己之吉
岩出原	岡 村 マツ	93	隆 好	相川1	小 林 リ カ	91	五 夫
上河原	喜多村孫太郎	93	本 人	木 沢	星 野 カ ネ	90	幸一郎
木 沢	星 野 フ ミ	92	武 男	川口1	笹 崎 浅 太 郎	90	房 男
中新田	関 トメ	92	正 一	山ノ相川団地	黒 島 マ ツ	90	賢 一
前 原	涌 井 シ ゲ	91	加 一 郎	相川2	広 井 ヲ キ	90	新太郎
武道窪	綱 富子	91	喜 由	川 岸	小 西 ト ル	90	宇根イツ子
貝ノ沢	阿 部 マ ス	91	増 栄	中 山	古 田 島 ト ク	90	博 英
中 山	渡 辺 ナ ヲ	91	清 一	相川1	鈴 木 作 蔵	90	猛
相川2	広 井 フ ジ	91	政 市				

また、町づくりについて、今町は国のリゾート法の指定を受けるとともに、町の活性化と活力のある町づくりを目指しており、中山高原再開発

による滞在型家族旅行村の建設が順調に進展していることなどを話され、町づくりについて皆さんのご協力とご指導をお願いしますと述べた。

敬老会



綱 マツさん

長寿を祝って

最高は綱マツさん(武道窪)百一歳
次に笹崎キクさん(小高)九十九歳

七十五歳以上
四百六十五名

敬老会は九月六日(木)、総合福祉センターで、七十五歳以上の方を招いて盛大に開催されました。

今年七十五歳以上の方は、昨年より六名多い四百六十五名で、この内、百一歳を迎えられた綱マツさん(武道窪)を最高に、九十歳以上二十五名、八十歳以上二百名、七十五歳以上二百名となっています。

九十歳以上二十五名中
一十二名が女性



▲長寿を祝って90歳以上の方を訪問する青柳町長。左 笹崎キクさん

なお、九十歳以上では、二十五名中、女性は二十二名、男性は三名と、女性が圧倒的に多く、男性の最高は九十三歳の喜多村孫太郎さん(上河原)です。

敬老会の前日、青柳町長は九十歳以上の方々を訪問し、長寿を祝うとともに、「健康に気をつけて、いつまでも長生きして下さい」と一人一人を激励した。

アトラクションで
「狛江シルクの会」
が特別出演
が特別披露
手品を披露

この日会場には、該当者の約七割にあたる三百二十名が出席。長寿を祝い、米寿と金婚を迎えられた方々に、御祝状と記念品が贈られた。

アトラクション



▲約320名が出席。踊りや手品を楽しむ。



▲町芸能協議会の皆さん。



▲特別参加した7人の皆さん。



▲中国風手品もあざやかに。

これに先立ち、青柳町長は最初に挨拶を行い、この中で、「健康は自分が自分に贈る最高の贈物です。健康には十分気をつけて、限らないご健勝をお祈りいたします」と述べ、

郵政省からも お祝い

郵政省では、本年度も、九月十五日の敬老の日を中心に、郵便局を通じて米寿(八十八歳)及び白寿(九十九歳)を迎えられた方々に、郵政大臣からのお祝い状に記念品を添えて贈呈されました。

これは、長寿をお祝いするとともに、長年にわたる簡易保険、郵便年金事業への御協力に感謝することを目的としているもので、当町在住の米寿の方十一人と白寿の笹崎キクさん(小高)に贈呈されました。

歳時記

秋は快適な気候で、しかも夜が長いので、読書にふさわしい季節です。それで「灯火親しむべき候」という言葉があります。これを受験勉強最後の追い込みのシーズン、と解釈した中学生がいたとか。多感な少年時代に、じっくりと読書を楽しむゆとりがないのは寂しいことですね。

読書

ところで、日本では毎年どのくらい本や雑誌が発行されているのでしょうか。(財)出版科学研究所の推定では、昭和六十三年中の発行部数は、書籍約十四億四千六百五十六万部、雑誌約四十二億四千四百四十四万部だそうです。

ちようど。読書の秋の十月十日は「目の愛護デー」。今年のキャッチフレーズは、「輝いていますか あなたの瞳」です。

共同募金 10月1日~12月31日



思いやりは
きつと
返ってくる

おおまかな勘定ですが、文字の読めない赤ちゃんまで含めて、年間に一人当たり書籍十二部、雑誌三十五部くらいを購読した計算になります。「活字離れ時代」といわれ、活字離れ時代といわれ、出版部

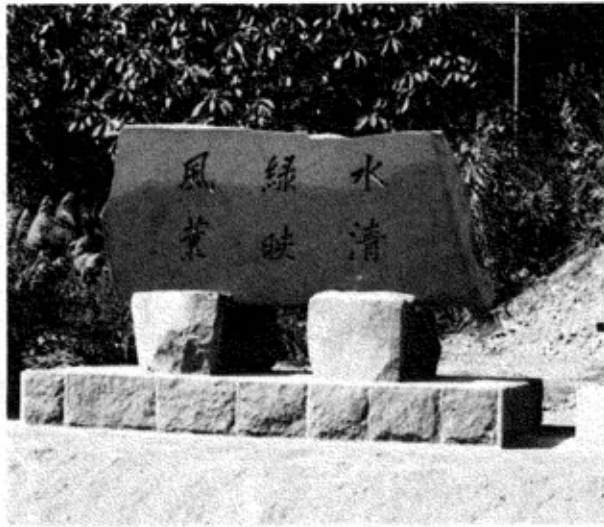


牛ヶ島大ため池が完成 記念碑を建立

八月三十日、牛ヶ島大ため池整備の完成を祝って、記念碑の除幕(写真)と竣工式が盛大に行われました。

整備は、県営事業により昭和六十年に着工され、四年にわたって改築が行われてきたもので、堤高三・六m、堤長五十五m、貯水量二万三千m³、余水吐越流巾十一mに改築されるなど、立派なため池として生れかわりました。総事業費は一億三千八十万円。

なお、同ため池は、牛ヶ島地区の灌漑用水として明治初期に築造され、昭和二十年に一度改修されたものの、老朽化による漏水がひどく、ひとつは集中豪雨等による堤の崩壊が懸念されるなど、改築が急がれていたものです。受益面積は十三・五ヘクタール。



▲ 記念碑を除幕



▲ 記念碑をバックに記念撮影

記念碑を除幕

六十人余が参加して

記念碑は、同ため池のそばに建立され、関係者六十人余が見守る中で除幕式が行われた。幕がとりさられると、青柳町長自筆の「水清緑映風薫」彫刻文字が現われ、参列者から大きな拍手が起り、これまでの労苦を賛えた。

また、竣工式はサン・ローラ川口で行われ、地元民など百人余りが出席し、同整備に尽力された方に感謝状が贈呈され、完成を皆んなで祝った。

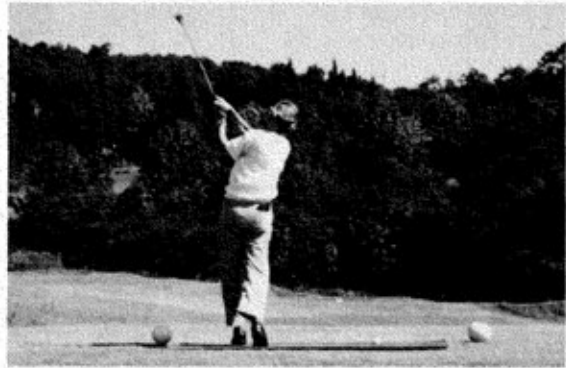
ゴルフ場利用者 一万人を突破!

自然に抱かれたスポーツとロマンのファミリー高原——中山高原に、この四月二十九日オープンしたファミリーゴルフ場に町内外から大勢のゴルフファンが訪れ、九月十七日現在で利用者は一万人を超えた。

この日、一万人目の人は小千谷市に住む会社員広井正夫さん(写真)、広井さんに一万



▶ 一万人目の利用者 広井正夫さん(小千谷市)これを記念してプロンド像を贈呈。



▶ 休日には連日大賑い……。プレイを楽しむゴルフファン スタートホールで

人達成を記念して、町からプロンド像が贈られた。

オープンしてから約四カ月半、一カ月平均約二千三百人が同ゴルフ場を利用した勘定となり、当初予想したより早い一万人達成に人気は上々。

ゴルフ場は、昭和六十年に県の滞在型のリゾート基地を目指す家族旅行村の指定を受け、地域バイタリティ育成事業

(県補助)を導入し、オートキヤンプ場(観光レクリエーション)地区施設整備事業(国庫補助)とともに整備されたもので、町の活性化と魅力のある町づくりには大きな期待がかけられており、町営ゴルフ場として県内外から脚光を浴びています。

また、同ゴルフ場は、九月二十一日に残りの四ホールがオープン、一一〇ヤードから一七〇ヤード、パー三の十八ホール。適度なアンデレイションとナイター設備により、ハンディアップには恰好のコース。そして、眼前には秀麗の魚沼三山が迫り、眼下には清流魚野川と大河信濃川が合流するコントラストは絶景。訪れるプレイヤーに、さわやかな気分を満喫させてくれます。

ナイター
五時半スタート
最終七時半

早朝
五時半スタート
最終六時半
もご利用下さい。
問合せは八九一三三三八

中央簡易水道

牛ヶ島地区拡張工事が完成

十月二日から給水開始



10月給水を目指して順調に工事が進む
写真…配水管布設による掘削 牛ヶ島地内で

今年の七月に着工された、中央簡易水道「牛ヶ島地区」への新規拡張工事が順調に進み、十月二日から給水が始まります。これにより、清浄で安定した給水が行われることになり、地元は大喜び。

牛ヶ島地区は、これまで一部(新道地区)を除き、自家井戸と組合営の簡易水道(昭和

二十八年開設)三十五戸加入により給水が行われてきました。

しかし、数年前から夏場や冬の湯水期に水量不足が生じるとともに、施設の老朽化が進み、給水維持に困難を期たすなど、町営水道の新設が強く望まれていたものです。

水源は、町の幹線水道・中央簡易水道と結び、貝之沢地内から導水して各戸に給水されます。総事業費は減圧弁及びポンプ室、導水管(八三〇m)、配水管(一、〇四〇m)設備など五千万円。

今回の完成により、同地区全戸(六十四戸)が町の簡易水道から給水されることになり、昨年の天納地区拡張に続き、簡易水道未加入地域の解消が前進しました。

少年の主張(小千谷・北魚沼地区大会)で

優秀賞に輝く

川口中三年 中林真由美さん



「God's willは
精一杯する」を
課題に発表

▶ 賞状を両手によるこびの真由美さん

中学生が学校、家庭、ふるさと、友人等のかかわりの中で日ごろ考えていることを発表する、少年の主張小千谷・北魚沼地区大会で、川口中三年中林真由美さんが、優秀賞に入賞しました。

地区大会は、青少年健全育成機関や教育委員会の主催で、管内の中学校代表十三人によって行われ、真由美さんは県大会出場権は取れなかったものの、それに次ぐ上位入賞をたたしたものです。

真由美さんは、「今、やるべきこと」を課題に、春先に亡くなった祖父との約束が果たせないまま死という別れになったことを後悔して、「今自分のやるべきことは、今のうちに一生懸命やろう。」と決心。今やるべきことは、実行委員長となった文化祭を成功させることだと、つらいこともがまんして成功へ導く努力をしている。

今やらなければならぬことは、人それぞれに違いがあるが、自分の今を見つめ直し、自分の未来を考えて、やるべきことを見つけてはくはない。そして充実した人生を送れる人間に成長したい。と発表しました。

町議会九月定例会

決算など原案通り可決

九月九日から十日間の会期で開かれていた町議会九月定例会は十八日、本会議を開き各委員会に付託された昭和六十三年度一般会計及び特別会計、ガス事業会計決算の審査報告を行い、同決算を認定した。また、この日提出された教育委員会委員の任期満了に伴う人事、平成元年度一般会計補正予算などの審議を行い

原案通り可決、請願一件が採択された。なお、初日の本会議において、常任委員会委員の選任、報告(一件)、専決(一件)、条例の一部改正(一件)が行われ、同定例会に上程された全議案が原案通り承認、可決されました。

- ◎議案第五十九号 川口町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
◎議案第六十号 昭和六十三年川口町一般会計歳入歳出決算認定について
◎議案第六十一号 昭和六十三年川口町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
◎議案第六十二号 昭和六十三年川口町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
◎議案第六十三号 昭和六十三年川口町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
◎議案第六十四号 昭和六十三年川口町ガス事業会計決算認定について
◎議案第六十五号 川口町教育委員会委員の任命について
◎議案第六十六号 川口町固定資産評価審査委員会委員の選任について
◎議案第六十七号 財産の取得について
◎議案第六十八号 町道路線の認定について
◎議案第六十九号 川口町集落開発センター条例の一部改正について
◎議案第七十号 平成元年度川口町一般会計補正予算(第五号)
◎議案第七十一号 平成元年度川口町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
◎議案第七十二号 平成元年度川口町老人保健特別会計補正予算(第一号)
◎議案第七十三号 平成元年度川口町公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)
◎請願第二号 水田農業確立後期対策ならびに良質米奨励金の現行確保に関する請願について採択

選挙第七号

常任委員会委員の選任について

先に繰上当選された丸山聖浄議員が、常任委員会の産業建設委員に選任されました。

報告第三号

長岡地域土地開発公社の経営状況について

同公社の昭和六十三年事業・決算及び平成元年度事業・予算について報告したものです。

報告第四号

継続費精算報告書について

昭和六十三年川口町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
昭和六十三年川口町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
昭和六十三年川口町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
昭和六十三年川口町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
昭和六十三年川口町ガス事業会計決算認定について
川口町教育委員会委員の任命について

教育委員会

委員に

小見昇司さん

固定資産

評価審査委員会

委員に

佐次二三生さんが再任

任期満了に伴う町教育委員に小見昇司さん(田麦山)、固定資産評価審査委員に佐次二三生さん(西川口)が、それぞれ再任されました。

小見さんは、これまで二期連続して同委員を務めており今回で三期目、任期は四年。佐次さんは今回で二期目、任期は三年。

固定資産

評価審査委員会

固定資産課税台帳に登録された事項(土地登記簿又は建物登記簿に登記された事項を除く)に関する不服を審査決定する機関です。なお、委員の定数は三人。

川口出身の

小山隆一さん(東京都調布市)を表彰

レーザーカラオケなど町に多額の寄附



小山隆一さん(東京都調布市)から、レーザーカラオケ(ビデオデスク、テレビ等一式、レコード六十五枚)千八百二十曲)額にして二百二十万円相当を町に寄附されました。

レーザーカラオケは、サン・ローラ川口に設置され、お客様に喜ばれています。

町は、これを受けて八月十二日、町褒賞条例に基づき多額の寄附をされた小山さん(写真)に、青柳町長から表彰状と記念品が贈られました。

小山さんは、川口(東部)で生まれ、その後一家して上京戦時中は疎開により、親戚の

行政相談委員は

みなさんの身近な

相談役

行政に関する苦情や要望などを受けつける行政相談制度の理解を深めるため、十月十五日(日)から二十一日(土)までの一週間、全国一斉に行政相談週間が実施され

「空き地の草が伸び放題で、害虫が発生して困る」「道路が慢性渋滞して不便だ。道幅を拡張したり、バイパスをつくらしてほしい」...
国の行く仕事で、このような問題が起きたとき、要望や苦情・意見を住民から聴き、その解決や実現を図ることを第一の目的としているのが、

行政相談委員とは

行政相談委員は法律に基づいて、総務庁長官から委嘱された民間の有識者です。現在、全国に四千七百八十九人の方がおり、すべての市(区)町村には必ず一人はいます。昭和六十三年度の行政相談は、全国で約二十三万件ありましたが、このうち七割以上の約十七万件が行政相談委員の受けたものでした。

電話でも手紙でも...

しかし、「苦情はあるが、役所に行くと直接は言いにくい」「どこへ申し出たらいいのかわからない」という方も少なくないでしょう。そういう方は、行政相談委員に申し出てみてください。

町では、この週間に合わせて、次により合同行政相談(行政・人権・心配ごと)を開設して広く受け付けたいとします。この機会に是非お出かけ下さい。
日時 十月十七日(火) 午前九時～十二時
場所 末広荘(老人憩の家)
相談委員 関 市作 中村 孝彰 内藤 益郎 桜井 仁夫
心配ごと 桜井 仁夫
※相談はいつでも無料で、秘密が守られます。お気軽にお出かけ下さい。

秋の行政相談週間 10月15日～21日

行政に関する苦情や要望などを受けつける行政相談制度の理解を深めるため、十月十五日(日)から二十一日(土)までの一週間、全国一斉に行政相談週間が実施され

「空き地の草が伸び放題で、害虫が発生して困る」「道路が慢性渋滞して不便だ。道幅を拡張したり、バイパスをつくらしてほしい」...
国の行く仕事で、このような問題が起きたとき、要望や苦情・意見を住民から聴き、その解決や実現を図ることを第一の目的としているのが、

行政相談委員とは
行政相談委員は法律に基づいて、総務庁長官から委嘱された民間の有識者です。現在、全国に四千七百八十九人の方がおり、すべての市(区)町村には必ず一人はいます。昭和六十三年度の行政相談は、全国で約二十三万件ありましたが、このうち七割以上の約十七万件が行政相談委員の受けたものでした。

災害発生に備え

消防団総合演習

分列行進や放水演習など
真剣に取り組む

町消防団総合演習は九月三日、川口中学校グラウンドで消防団員二百四十七名が参加して行われた。

この演習は、災害発生に備えて、消防団の敏速且つ適正な行動により、災害の軽減を図ることを目的に、毎年この

時期に実施されているもので町民の財産、命を守る消防団活動における訓練の総合版。午後一時五十分、ラッパ

隊による集合ラッパを合図に全員が整列、綱消防団長から演習参加人員と消防ポンプなど出動機械の報告が行われ、

同二時演習が開始された。

演習は、「人員・服装・姿勢

の点検」、「分列行進」、「機械器具の点検」、第三分団による

「ポンプ操法」と魚野川左岸堤防で、実戦さながらの「放水演習」が行われた。特に分

列行進は、緊張の中に整然として行進し、消防団の生と団結を誇示する場面。演習に備

えて、これまでの訓練の成果を十分に発揮して、威風堂々と立派な行進が行われた。また、ポンプ操法では、今年代表の第三分団により、小型動力ポンプによる模範演技

が行われ、火災を想定した機械操作、放水、収め、規律動作を見事にこなし、その迅速果敢な演技に、来賓席から大きな拍手を受けていた。

演習の最後は表彰が行われ、これまで消防団活動に尽力され、今年退団された前消防団長をはじめ四人の方々に、青柳町長から感謝状と記念品が贈られた。また、消防に功績

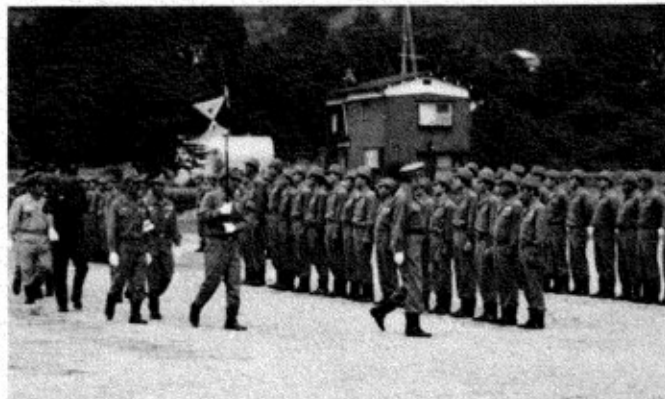
された団員に町長表彰や、日本消防協会長、新潟県知事表彰の伝達などが行われた。



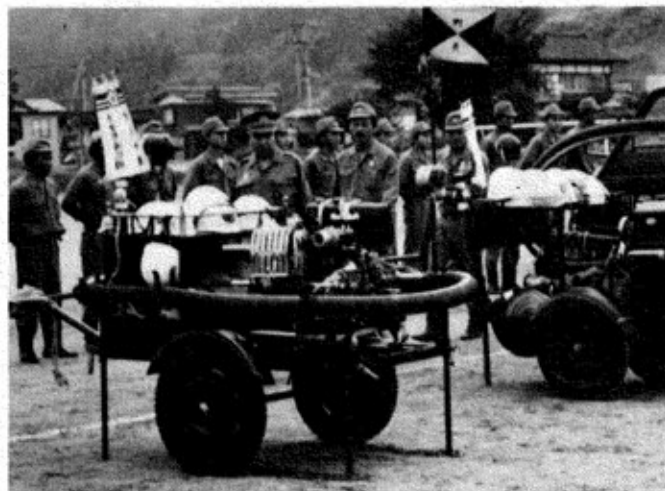
「分列行進」



「放水演習」



「人員・姿勢・服装」の点検



機械器具の点検

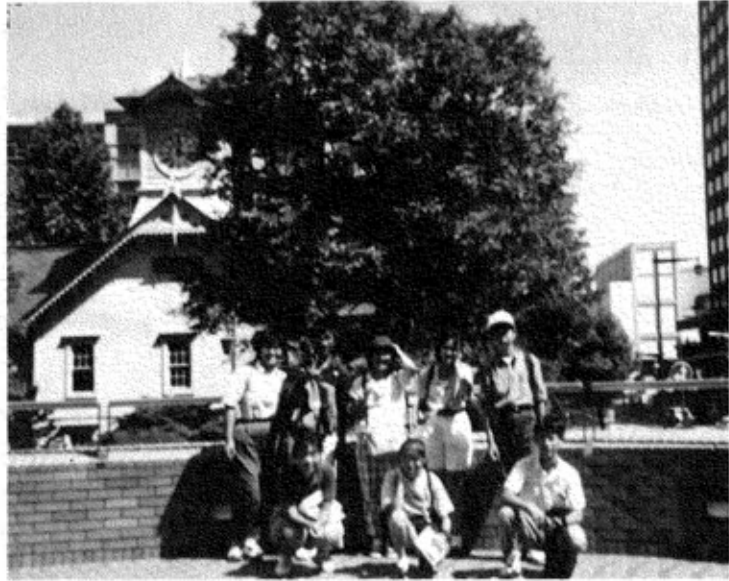


▲表彰を受ける第五分団「建物無火災1295日達成」

中学生海のつどいに

ジュニアリーダー研修

北海道の旅 二人が参加



▲研修仲間と記念撮影
札幌時計台の前で



▲和田恵一君(左)と森山章君の二人

洋上訓練や グループワーク 社会参加を 狙いに

狙いに

県下の中学生を対象に、日本海や北海道での洋上訓練、グループワーク、野外活動や交歓会等の研修を目的とした「中学生海のつどい」に、川口中学生新学生会、二年生の森山章君と和田恵一君の二人が参加しました。

団体活動の知識や技術の習得を目的として県教育委員会が主催、八月二十三日から五泊六日、九十人の仲間と道内の施設や中学校を訪問、往復ともフェリーを使い、船中では「故郷を考える」ディスカッションをしたりして、内容の多い研修だったようです。町教育委員会の推薦をうけて参加した二人は、次のような体験手記を寄せてくれました。

川口中二年 森山 章
僕は県下九十名の中学生とこのジュニアリーダー研修「海のつどい」に参加しました。初めは同じ仲間でもまったくな会話もなく、ただ暗くなっていたが、ちょっとしたことでだんだん相手と話す機会が多くなり、北海道に着くころには、五泊六日を一緒に活動する良い友達になりました。

「海のつどい」に 参加して

北海道では、集団生活を通して道内の歴史などについて学習したり、道内の中学生との交流会、札幌市内フィールドワークなど毎日スケジュールはいっぱいでした。また、キャンプファイヤーなど楽しい行事もありました。その中で集団活動に関する知識・技術やリーダーとして大切な心構え・ボランティア精神などを学ぶことができました。そしてどんなに新しい友達でも、活動しながらどんどん仲良くなれることを体験を通して学んできました。この研修の成果をこれからの学校生活に役立てていきたいと考えています。貴重な体験をありがとうございました。

修のため、北海道へ行ってきました。そして、友達の大切さを改めて実感しました。この研修でも、友達がいたからこそ楽しく勉強できたのだと思います。友達がいたと言っても、研修の初日はみんな知らない人同士で、会話もほとんどありませんでした。でも、日が経つにつれて気軽に話せるようになりました。そして、厳しいスケジュールをこの友達と一緒にこなし、さらに友情を深めました。スケジュールは、楽しみながらも勉強できるという素晴らしいものでした。それは次の内容でした。

。人との関わりは活動を通して深まること。

。活動の中で奥深い人間性を発見できること。

。ねらいがわかると活発に活動ができること。

。リーダーシップ、フォロアーシップの本当の意味がわかったこと。

この機会を与えてくれた関係者の皆様方に感謝しています。



スポーツの町宣言

七月九日に開幕した町民野球大会は十九チームが参加、三か月の長期シリーズの全日程を消化、インディアンスが町長杯を獲得してその幕を閉じました。

予選リーグを勝ち抜いたA、B、C各ブロックの上位チームが決勝トーナメントに進み、優勝決定戦は両チーム実力伯仲で得点がなく、特別のエキストラ・イニングに入り、ノーアウト満塁の場面を設定して進め、インディアンスが生越キラースをくだしました。また、今年から設けられ決勝トーナメントに進んだチームからの優秀選手が、次のように選ばれました。

決勝は投手戦
エキストラ・イニング
で決着



ノーアウト満塁(エキストラ・イニング)レフト前ヒットで二者生還
インディアンス決勝点をあげる。

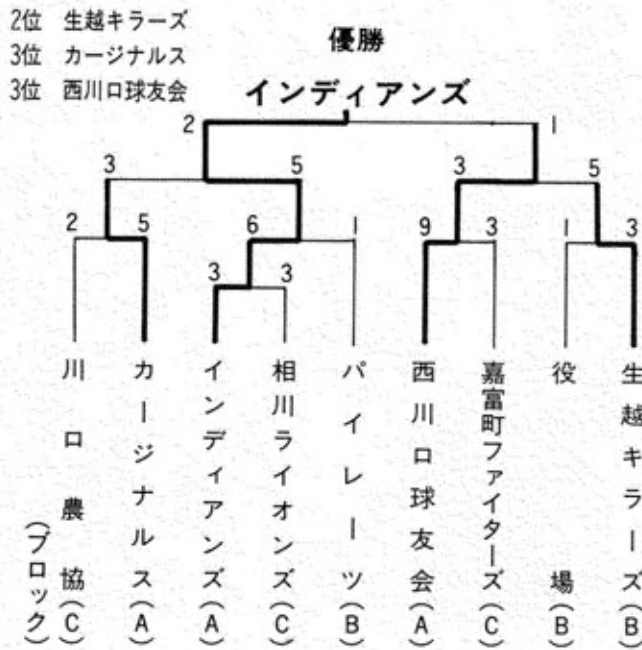
町民野球大会が閉幕

町長杯は...

インディアンスが獲得!

出場十九チームから九人が優秀選手に

町民野球大会決勝トーナメント



父ちゃんナイターでがんばったよ!!



▲優勝したインディアンス



▲惜敗/準優勝の生越キラース



▲今年から設けられた優秀選手のメンメン

優秀選手に選ばれた9人

チーム	氏名	守備
インディアンス	喜多村茂樹	投手
生越キラース	生越千晴	捕手
カージナルス	森山好一	三塁
西川口球友会	原田和夫	一塁
農協	小宮山一久	捕手
相川ライオンズ	広井渡	投手
バイレーツ	涌井勉	遊撃
嘉富町ファイターズ	吉川康成	投手
役場	桜井誠一	中堅

スポーツの町宣言



▲盛大に開催されたゲートボール大会

- 優勝 田麦山第二クラブ
準優勝 川口第一クラブ
三位 川口第二クラブ

ゲートボール大会
十六チームが参加して熱戦

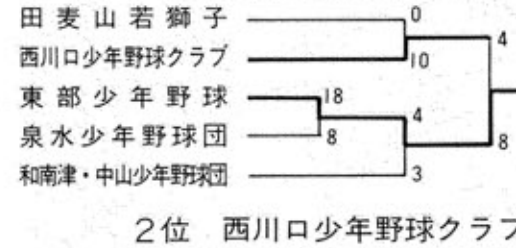
町主催の秋期高齢者ゲートボール大会は、九月二十一日町内から十六チームが参加、トーナメント方式で田麦山第二クラブが川口第一クラブを十三対十でくだして優勝しました。

ゲートボールは、協会が設立されてから審判部会も充実し、それに関連して競技者の技術も向上、内容のある程度高い大会となりました。

成績は次のとおり。



少年野球教育長杯大会組合せ結果

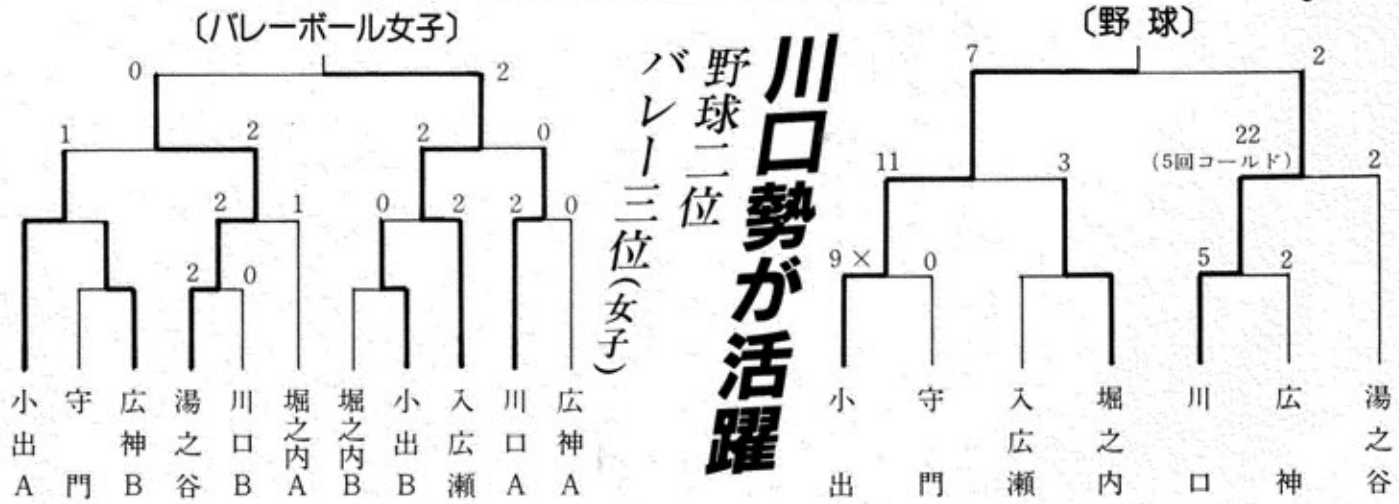


教育長杯は、少年野球大会は九月九日(日)総合運動公園で五チームが参加して開かれ、熱戦の結果、東部少年野球チームが優勝し、教育長杯を手にした。成績の結果は次のとおり。

◎少年野球◎
教育長杯は東部少年野球が獲得

郡中学校新人球技大会 ライオンズ杯

9月17日、小出会場で開催され、川口勢は野球2位、バレーボール女子が3位となりました。



農業振興まつり

10月22日(日)

歌謡ショー・抽せん会・宝船値段あてなど盛沢山

ご家族おそろいでおでかけください

- 会場 福祉センター通り他
- 催しものの御案内

◎式典・うまい米試食会……農業会館

●受付	9:30~10:00
●式典(優秀農家・団体表彰他)	10:00~12:00
●うまい米試食会	12:00

◎農産物品評会 9:00~ 福祉センター前

◎各種コーナー

●牛肉即売	9:00~14:00	福祉センター前
●野菜・苗木	9:00~16:00	福祉センター前 (林産物含む)
●オデン	11:00~15:00	福祉センター前
●焼肉	11:00~15:00	福祉センター前
●鮎焼	11:00~15:00	福祉センター前

◎ふるさと料理工夫展(手芸展含む)

ミニ俵 9:00~16:00 文化会館前

◎サービスコーナー

●飲みもの	11:00~	福祉センター前
●ポンポン菓子・綿菓子		保育所前

◎アトラクション……福祉センター

歌謡ショー・抽せん会	13:00~15:30
------------	-------------

◎宝船値段あて9:00~14:00 福祉センター前

◎錦鯉品評会 9:00~15:00 役場前広場



自転車大会で 健闘

交通安全高齢者県大会



交通安全高齢者自転車県大会は九月二十日、新潟市体育館で百五十人が参加して行われ、当町から四名の選手が出場しました。

この大会は、自転車の安全運転技能の向上と安全知識を高め、多発する高齢者の自転車事故防止を狙いに、毎年行われているもので、今回で第三回目。

選手は、

星野七郎さん(69歳、岩出原) 佐藤軍治さん(72歳、川口七) 中林貞三さん(62歳、川口一) 木村直治さん(63歳、川口五) の四人。選手たちは勿論初出場で、大会に備えて小千谷警察署交通課の職員から特訓を

受けるなど、一生懸命練習に取り組み大会に望みました。大会では、惜しくも入賞をのがしたものの、練習の成果を十分に発揮し、健闘されました。選手の皆さんご苦労様でした。

児童手当・父子手当 受給者のみなさんへ 十月期支払日は 十月九日です

児童手当及び父子手当の十月期支払分をあなたの指定金融機関口座に振り込みます。なお、個々の支払通知書はこれをもってかえさせていただきます。

聞いていますか
あなたの腫

●目の受診デー 10月10日●



余暇時代にむけて 豊かな生活の創造

現代の青年は、学生にしろ勤めをもっているにしろ、独身貴族といわれるほど、海外旅行や大型ショッピングを楽しむ、ドライブやスポーツなど、レジャーの代表選手と見られています。

余暇を大切に 意識が高い

確かに、旧世代に比べて、余暇を大切にしようという意識が高いことは事実です。しかし、多くの若者が、勉強や仕事をしないでレジャーばかりしているわけではありませぬ。若者がすべて新人類であるかのようにいうのは、適切ではありません。

大半の青年は、勉強や仕事に精を出し、その後レジャー

一を楽しんでいると見るのが妥当と思われず。ただ、レジャーの過ごし方で若者に共通する点が、いくつかあることは事実です。

何をしたいか 見極める

それは、極めて本能的なのですが、人間はいくらでもあるのに何をしたらいいのか分からないという、戸惑いが見られることです。過ごし方が分からないので、何でもお金で解決してしまおうという傾向が目立つのは、そのためです。もう一つの特徴は、その時だけ楽しければよいという意識が強い、つまり利他的なことです。

◇余暇とライフ・ステージ◇ 青年時代 一生やれるものを探す

人の一生は、青年期に夢見たことを実現させていく道程であるといわれます。そこで

あればこそ、余暇についても自分はいったい何が好きなのかを見極め、本当は何をしたのかを真剣に考えてみるべきだと思えます。

青年期の趣味が 人生を豊かにする

可能性は大きいのですから、いろいろなことに挑戦し、行動することによって学び、一歩ずついけるものを発見する。それが青年期の大きな課題であると思えます。行動を通して同好の友人もできます。趣味を青年期に獲得することできれば、その後の人生は、一段と実り豊かなものになることは間違いありません。

